北支へ
北支へ
大阪商船
昭和十三年三月

明朗の北支へは

北支へ御出でになるには大阪商船の優秀船を御
も經濟的で御ざいます　同方面へは天津航路
天津　北京を起點として奥地へ行かれる方には

八達嶺の長城

大阪⇔天津航路

船内の設備に就いて

明朗化された北支の天津、北京へはこの航路での最大、最優秀のディゼル船、長城丸、長安丸、長江丸の三姉妹船が就航して居ります。これ等三船は何れも最近船内の改裝を完了し、船醫を乘船せしむる等サーヴイス上にも大改善が加へられましたので北支への船旅も亦より明朗化された譯であります。

大阪天津航路の長城丸長安丸、長江丸の三隻は、いづれも大阪商船多年の經驗による基礎設計に成り、ズルツアー式ディゼル機關を有する最新式客船で、船體機關共全部我國にて製作建造され、獨特の構造により動揺を少なからしめ、甲板の補助機關等も全部電動裝置として騷音を除き、客室設備の完璧なるは勿論のこと、すべて船客の爽快と安全と便利と經濟とを期してゐます。

最近北支の新展開に伴ひ、内地との來往客は一そう頻繁となり、滿員のため乘船御斷りの已むなきに到る場合が屢々ありましたので、ここに多大の犧牲を忍んで各船の大改裝を企圖し、各船に二等客室及び二等食堂の增設、三等客室の明粧を斷行致しました。

一等客室は船橋樓甲板に在りA一等は二人部屋、B一等は四人部屋の洋風室とし、裝飾

發着時刻と運賃

大阪天津航路は二週三回左記定期により發着してゐます。出帆日は別に印刷の定期表を御參照願ひます。又全國の主要新聞に廣告として掲載してゐます。

天津向			内地向		
神戸	門司	天津（又は塘沽）	天津（又は塘沽）	門司	神戸
第一日	第二日	第五日	第一日	第四日	第五日
正午發	早朝着 午後二時發	午前着	潮時發	早朝着 前十一時四十分發	早朝着

白河は數年來泥のため淺くなつてゐますので、潮の都合によつて天津溯航が不可能の場合があります。其際本船は塘沽着發とし、塘沽で乘御降願つて居ります。此場合天津塘沽間下記汽車賃は船客御自辨の事になつて居ります。一等二元一〇分、二等一元四〇分、三等七〇分

尚天津塘沽間には定期バスも一日二往復運轉せられて居り料金は一弗です。

船客定員

長江丸
長城丸
長安丸
一等　A一八名　B二〇名
二等　三四名
三等　一五〇名

等級	門司—神戸	天津（塘沽）—神戸	天津（塘沽）—門司
一等	一九圓（洋食）	A八〇圓（洋食） B七〇圓（洋食）	A七〇圓（洋食） B六〇圓（洋食）
二等	一二圓（和食）	五八圓（洋食） 四八圓（和食）	四八圓（洋食） 四〇圓（和食）
三等	五圓（和食）	二二圓（和食）	一九圓（和食）

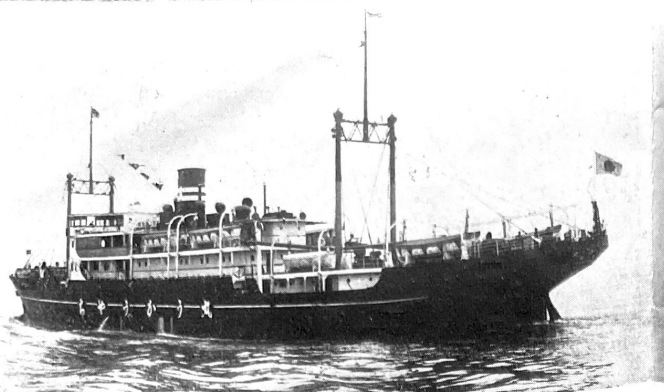
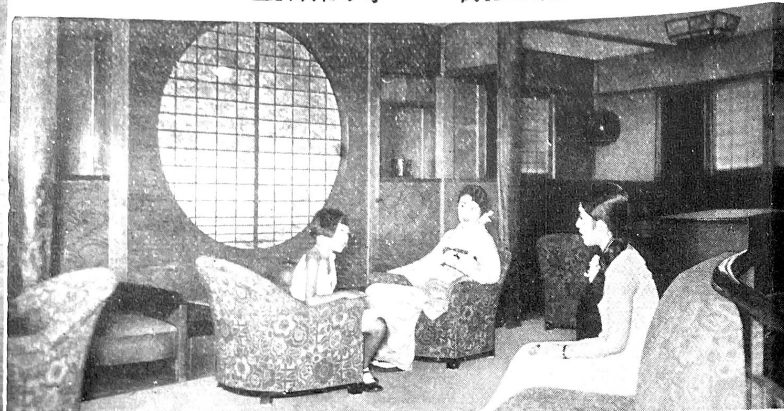
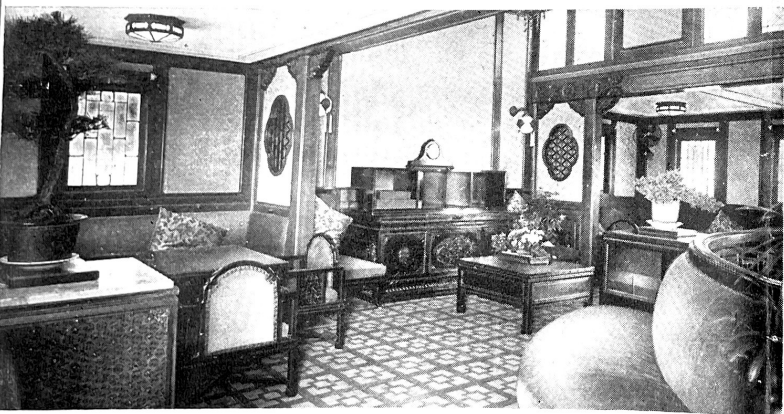
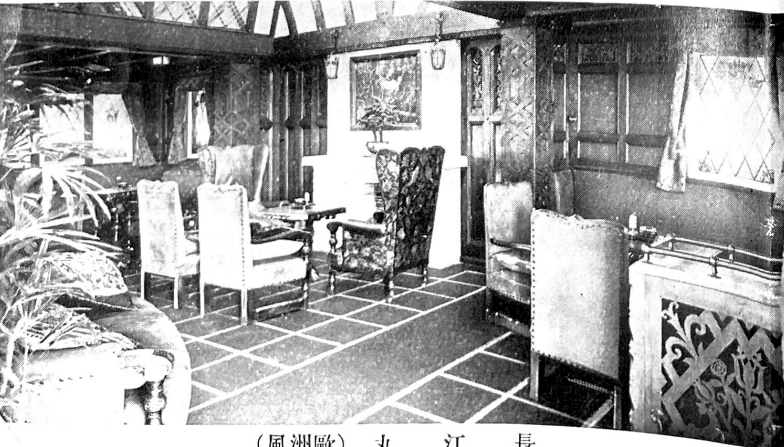
○二等洋食附運賃は外人客に限り適用致します。

○A一等室を一人で專用の場合は專用料金として普通運賃の五割額を頂戴致します。

○A一等第廿一號室、第廿二號室を御使用の場合は使用料金として普通運賃の五割額を頂戴致します。（但し御同行御二人にて御使用の場合は使用料金は要りません。）

御子達船賃　十二歳未滿は半額、四歳未滿は御一名を限り無賃、其他は御一名毎に四分の一額を申受けます。

往復切符　（天津＝内地相互間）

通用期間九十日、復路運賃一割引を以て發賣致します。

改裝後の長江丸

好評嘖々たる三船三樣の一等談話室

長城丸（日本風）

長安丸（支那風）

長江丸（歐洲風）

利用になるのが最も速く最も御氣持よく　又最

大連航路、青島航路の三線が走つて居りますが

天津航路の御利用が最も御便利であります

明朗の商船で！

調度には獨特の工夫を凝らし、客室に續いて近世復興式の裝飾美々しき廣間と食堂を設け、端艇甲板には談話室兼喫煙室及びＡ一等室二室を設けてゐます。談話室は寫眞で見らるる通り三船三樣の裝飾に各々獨自の氣品を釀し、優雅なパブリックルームとなつてゐます。尙一等遊歩甲板の前方を硝子張としてゐますので、雨天寒風の場合にも愉快に御散歩が出來ます。

新設二等室は上甲板中央部にあり、三人乃至七人部屋合せて六室あり、通風採光に留意して充分居心地よく造りました。此の二等客室の一等前方に新設した食堂は、三十四名樣が一時に御會食願へる廣さであります。

改裝後の三等客室は、後部中甲板にも增設し、此處は四區劃に分けた絨氈敷の平座敷で、荷物艙と完全に隔離するため鐵壁を以て區切り、荷役中の危險や、不快な塵埃を除去するとともに、冬期の暖房裝置を一そう完全ならしむる樣いたしました。明るく爽やかに、船の旅が娛しんでいたゞけます。尙、三等室上甲板には、ウインチ・プラットオームを新設し、出入口と便所、洗面所、浴室を造りました。

其他寒暑に應じ電扇、煖房裝置を完備し、洗面所、浴室、化粧室等は白色タイル張として極めて清淨に、其上ディゼル機關の爲め煤煙は絕對になく、船内は隅々迄も清く、且つ船上の無線電信は長波、短波を併有して常に陸上と聯絡し或は船客の通信に、或はニュースの發行に不斷の活躍をなし、又新聞、雜誌、書籍、碁、將棋、麻雀、蓄音器等の娛樂具を備へ、待遇の懇切は食事の優良と相俟つて絕對に他の追從を許さゞる所であります。

一方貨物運送設備も完備し、殊に大冷藏庫を有し、牛肉、玉子等冷藏貨物の輸送に非常な便益を提供して居ります。

大連經由北支行

VIA DAIREN　TO NORTH CHINA

‖神戸大連線‖

大連へは我社の誇る十隻の豪華船、何れも六千噸から九千噸の巨船が殆ど毎日正午に神戸を出帆し、翌朝門司着、同日正午門司發後三日目の午前九時大連に着きます。運賃は左記の通りで、手荷物無賃制限量、團體割引、兒童運賃等天津航路の場合と同様でありますが、詳細は弊社發行大連航路案内を御參照願ひます。

又南九州、滿洲を結ぶ大阪商船の那覇大連航路は兩地を往來せらる方々に至大の便宜を提供して居ります。詳細に就ては別に那覇大連航路案内を御參照願ひます。

――船客運賃表――（食事附）

	神戸	廣島	門司	大連
廣島	一二、〇〇圓 / 七、五〇 / 三、五〇			
門司	一九、〇〇圓 / 一二、〇〇 / 五、〇〇	一〇、〇〇 / 六、五〇 / 三、〇〇		
大連	六五、〇〇圓 / 四五、〇〇 / 一九、〇〇	六〇、〇〇 / 四一、〇〇 / 一八、〇〇	五五、〇〇 / 三七、〇〇 / 一七、〇〇	
等級	一等 / 二等 / 三等	一等 / 二等 / 三等	一等 / 二等 / 三等	

食事　一等は洋食、二三等は和食を船から差上げます。

一等特別室使用料金

船名	内地大連間	神戸門司間
ばいかる丸	五〇圓	二〇圓
鴨綠丸、黒龍丸、熱河丸、吉林丸、扶桑丸、瑞穂丸、うらる丸、うすりい丸	七〇圓	三〇圓

‖那覇大連線‖

	那覇	鹿兒島	三角	大連
鹿兒島	二一、〇〇圓 / 一七、〇〇 / 六、〇〇			
三角	二四、〇〇圓 / 二〇、〇〇 / 八、〇〇	七、〇〇 / 六、〇〇 / 三、〇〇		
大連	四八、〇〇圓 / 四〇、〇〇 / 二〇、〇〇	三五、〇〇 / 三〇、〇〇 / 一五、〇〇	二九、〇〇 / 二四、〇〇 / 一二、〇〇	
等級	二等甲 / 二等乙 / 三等	二等甲 / 二等乙 / 三等	二等甲 / 二等乙 / 三等	

定員
二等甲　一八名
二等乙　一〇名
三等　七六名

往復切符　神戸大連線、那覇大連線共内地大連相互間、通用期間九十日、復路運賃二割引を以て發賣致して居ります。

大連を經由して北支へ行かれるには左の方法があります。

（一）大連天津間を海路大連汽船による徑路

大連を經由して北支へ行かれるには弊社日滿連絡航路の優秀船で大連迄行き、大連から大連汽船の天津航路を御利用になるのが非常に御便利であります。當社に於て大連汽船の船席御保留の上左記通し運賃を以て商船大汽連絡乘船券を發賣致して居りますから何卒御利用願ひ

青島航路

青島方面に行かれる方には大阪商船の青島航路が最も御便利で御ざいます。抑々我國から青島へ定期航路を開始致しましたのは大阪商船が嚆矢（大正三年）でありまして現在優秀快速船が月二航海の定期を踏んでおります。發着時刻及運賃は左の通りでその他の規定は天津航路と略々同様でありますが詳細は弊社發行の青島航路案内を御參照願ひます。

往航（青島向）		
神戸（岸壁）	第一日	午前十一時發
門司（岸壁）	第二日	早朝着 午後一時廿分發
青島（岸壁）	第四日	早朝着

復航（内地向）		
青島（岸壁）	第一日	午前十一時發
門司（岸壁）	第三日	早朝着 午後二時半發
廣島（沖繋）	第四日	早朝着 正午發
神戸（岸壁）	第五日	午前九時着

宮島遊覽　二航海に一回復航廣島に寄港します。その碇泊五六時間を利用して宮島を遊覽せられる方は船内で事務長まで御申出下さい。遊覽ボートを本船舷側から特發致します。（但復航廣島に寄港しない航海では第四日早朝神戸着）

	神戸	廣島	門司	青島
廣島	九、〇〇圓 / 六、〇〇 / 三、〇〇			
門司	一五、〇〇圓 / 一〇、〇〇 / 五、〇〇	七、五〇 / 五、〇〇 / 二、五〇		
青島	六九、〇〇圓 / 四六、〇〇 / 二〇、〇〇	六三、〇〇 / 四二、〇〇 / 一八、〇〇	五七、〇〇 / 三八、〇〇 / 一六、〇〇	
等級	一等 / 二等 / 三等	一等 / 二等 / 三等	一等 / 二等 / 三等	

小兒運賃　十二歳未滿は半額、四歳未滿は御一名に限り無賃、その他は一人毎に四分の一額を申受けます。

往復切符　内地・青島間各等共復路運賃二割引、通用期間六十日。

團體割引

	普通團體			學校團體
一、二等	一〇人以上	二〇人以上	三〇人以上	（學生生徒は三等に限る）
三等	一〇人以上	三〇人以上	五〇人以上	三〇人以上 / 五〇人以上
割引率	一割	一割五分	二割	二割五分 / 三割

を以て商船大汽連絡乗船券を發賣致して居りますから何卒御利用願ひ

ます。

——大連經由商船大汽連絡通し運賃——

天津（又は塘沽）		一等	二等	三等
神戸	A	八二圓八〇	六四圓八〇	二四圓三〇
	B	七六圓五〇	五八圓五〇	二二圓五〇
門司	A	七三圓八〇	五七圓六〇	二二圓五〇
	B	六七圓五〇	五一圓三〇	二〇圓七〇

A　は大連天津間大汽北京丸又は天津丸に連絡の場合の運賃

B　は右の區間大汽濟通丸に連絡の場合の運賃

○大汽各船には二等設備無之隨つて前記二等運賃は神戸又は門司／大連間弊社大連航路二等に大連天津間大汽航路一等に御乘船の場合の運賃です。

(二)大連から山海關迄滿鐵、山海關から天津、北京迄北寧線による徑路。

此の場合大連天津間の鐵道運賃は一等五一圓二二錢、二等三二圓二二錢、三等一七圓九七錢、大連北京間一等五七圓五二錢、二等三六圓四二錢、三等二〇圓四七錢。

(三)大連承德間を滿鐵、承德北京間を「古北ロバス」による徑路

古北口バスは每日午前八時三〇分承德發、正午古北口着翌日午前八時古北口發午後五時北京着で、運賃は承德古北口間五圓一〇錢古北口北京間四圓七〇錢であります。從つてバス運轉の關係上古北口に一泊を要しますが邦人旅館としては古北口ホテルがあります。

(四)大連天津間を航空路による徑路

大連天津間を惠通公司の飛行機が每日大連を午後三時二〇分離陸、午後四時五〇分に天津に到着致します。運賃、大連天津間五三圓であります。

遊覽に好適し、其の服裝に獨特の情趣を湛えて各國租界にある大和公園、ビクトリア公園、フランス公園、イタリー公園等のそれぞれ異つた情緒はそれぞれの國民に切々の鄕愁をそゝるとの事で天津は正に北支に存在する特異な國際都市であり、觀光者は此處に世界の縮圖を見る事が出來るのであります。

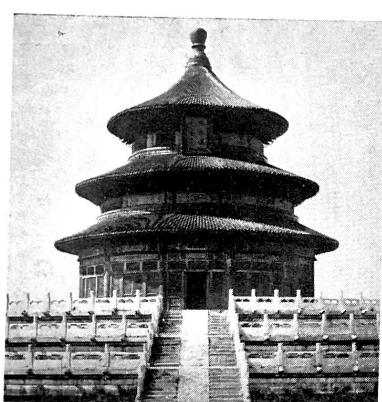
團體の御遊覽には左の御便宜があります。

天津市内遊覽自動車（二時間乃至三時間、貸切バス大型三二人乘料金二〇圓乃至三〇圓）視察巡路、大和公園—旭町—東門大街—鼓樹—估依街—李公祠—特別第三區—伊租界—ビクトリヤ公園

尙御乘物は自動車二時間六弗馬車半日二弗五〇仙、人力車一時開銀二十仙、半日銀八十仙程度であります。馬車で約四時間で御視察出來ます。

◎天津旅館案内

旅館名	所在地	樣式	食事附宿泊料
大和ホテル	花園街	和式及洋式	五元半—十五元
芙蓉別館	榮街	同	七元—十五元
常盤ホテル	壽街	同	七元—十五元
平安ホテル	旭街	和式	九元—十七元
芙蓉ホテル本館	曙街	和式及洋式	四元—十二元
曉ホテル	特三區一緯路	洋式	三元—八元
松島館	松島街	和式	五元—八元

門）—玻璃廟—萬里の長城（八達嶺）

所要時間　(イ)約八時間　(ロ)約七時間　(ハ)約六時間

右料金　(イ)約一四元　(ロ)約一〇元五〇　(ハ)約九元

◎北京旅館案内

旅館名	所在地	樣式	料金
櫻ホテル	東西南大街	和式	三元—六元
東京ホテル	東城新開路	同	五元—六元
燕京ホテル	西觀音寺胡同	和式及洋式	五元—九元
王府ホテル	王府井大街	洋式	二元—八元（室料ノミ）
敷島館	東城西觀音寺	和式	四元—五元
東安ホテル	東安門大街	和式及洋式	三元—五元

天壇

通州

點であり、又南支那に通ずる唯一の交通路の起點であつた爲、北京に次ぐ殷盛を誇つたものでありますが、天津北京間に鐵道が敷設されると共にその重要性を失ひ世人から忘れ去られてしまつたのであります。然るに昭和十年殷汝耕を主班とする冀東防共自治政府が獨立を宣言し、冀東地區二十二縣に君臨する首府を此の地に定めて以來、通州は再び世界の視聽を集めたのであります。此の政府は地方民の總意によつて結成されたもので北支の一角に樂土を建設しつゝあつたのでありますが、不幸今次の事變に際し、通州保安隊の邦人虐殺と言ふ血腥い事件が起き、我々にとつて恨長き土地となつて仕舞ひました。

通州は北京の東二十五粁、汽車で五十分の所にあり、以前御成街道であつた爲北京城外から全部板石を敷き詰めた五間道路が開通して居り、又北京が帝都となる以前に著名な佛蹟地であつたものと見え、今尙ほ後周時代の遺物と言はれる十三層の燃燈舍利佛塔及び長さ百八十尺、幅四十八尺の大石橋等が往古の榮華を物語つております。

御乗船に就いての御心得

船車連絡　汽車と汽船が一枚の切符で乗れる船車連絡切符が發賣されて居りまして此れを御求めになれば乗換の際更に切符を御買ひになる必要がありませんので大變御便利で御ざいます。商船會社支店、代理店、切符發賣所、鐵道主要驛、ジャパン・ツーリストビューローで發賣して居りますから御利用願ひます。

内外航連絡　門司又は神戸で天津、大連、青島航路船より内地航路船に、又は逆に内地航路船より天津、大連、青島航路船に乗繼がれる方は**内外航路連絡切符**といふのを御利用下されば内地航路の御乗船賃二割引と致しますから、甚だ御便利です。又御手荷物も連絡にて取扱ひ左記制限量無賃であります。

一等……九〇瓩又は〇・六立方米　　二等……七〇瓩又は〇・四立方米

三等……三五瓩又は〇・三立方米

右制限量超過の場合は超過量六瓩又は〇・〇三立方米若しくは其未滿毎に、内外兩航路を併せ四十五錢宛申受けます。茲に内地航路と云ひますのは、大阪商船の外に攝陽商船、土佐商船及び尼崎汽船の各航路も含みます。

乗船切符の購入　旅行日程が御確定になりましたら、成るべく早く最寄の弊社支店代理店又は切符發賣所若くはジャパン・ツーリスト・ビューローで乗船切符を御購入になるか船室を御豫約下さい。

御乗船　には出帆時刻より一時間位前に御乗込になる方が何かと御都合がよいと存じます。各港共岸壁又は棧橋に夫々繋留されますから乗降は至極御便利であります。

御手荷物　船客の手荷物は左記制限量まで無賃輸送の御取扱を致します。

一等……………百五十斤(九十瓩)又は二十才(〇・六立方米)迄

二等……………百二十斤(七十瓩)又は十五才(〇・四立方米)迄

三等……………六十斤(三十五瓩)又は十才(〇・三立方米)迄

お子達運賃御支拂の方は御支拂運賃に比例して右制限量も遞增するものと御承知願ひます。

上記制限量を超過する時は十斤・(六瓩)又は一才(〇・〇三立方米)に付き距離の遠近に拘はらず金參拾錢(内外航連絡の場合は四拾五錢)の割合にて運賃を申受けます。

尙下記物品は手荷物として御取扱を致しませぬ。家具、商品及臭氣を發するもの、蓆包、菰包、箱物、形態粗大、荷造粗雜なるもの、寶玉類、金銀、貨幣、有價證券、美術品等の貴重品。

御旅裝　北支は大陸的氣象に支配される爲氣候の變化が激しく、冬は内地より寒く、夏は内地より暑う御ざいますからその御積りで御衣類の御用意を御願ひ致します。

團體取扱

團體客の御乗船を特に歡迎致します。團體客に對しては、左記の通り運賃を割引申上げ、優良なる船室を提供、萬事懇切に出來るだけ御便宜を御取計ひ申上ます。

黒龍丸食堂

	一、二等	三等	割引率
普通團體	一〇人以上 二〇人以上 三〇人以上	一〇人以上 三〇人以上 五〇人以上	一割 一割五分 二割
學校團體	(學生生徒は三等に限る)	三〇人以上 五〇人以上	二割五分 三割

大連航路　黒龍丸

TO NORTH CHINA

經由大連

‖神戸大連線‖

大連へは我社の誇る十隻の豪華船、何れも六千噸から九千噸の巨船が殆ど毎日正午に神戸を出帆し、翌朝門司着、同日正午門司發後三日目の午前九時大連に着きます。運賃は左記の通りで、手荷物無賃制限量、團體割引、兒童運賃等天津航路の場合と同様でありますが、詳細は弊社發行大連航路案内を御參照願ひます。

又南九州、滿洲を結ぶ大阪商船の那覇大連航路は兩地を往來せらる方々に至大の便宜を提供して居ります。詳細に就ては別に那覇大連航路案内を御參照願ひます。

——船客運賃表——（食事附）

區間	一等	二等	三等
神戸—廣島	一二、〇〇圓	七、五〇圓	三、五〇圓
神戸—門司	一九、〇〇圓	一二、〇〇圓	五、〇〇圓
廣島—門司	一〇、〇〇圓	六、五〇圓	三、〇〇圓
神戸—大連	六五、〇〇圓	四五、〇〇圓	一九、〇〇圓
廣島—大連	六〇、〇〇圓	四一、〇〇圓	一八、〇〇圓
門司—大連	五五、〇〇圓	三七、〇〇圓	一七、〇〇圓

食事

一等は洋食、二三等は和食を船から差上ます。

一等特別室使用料金

船名	内地大連間	神戸門司間
ばいかる丸	五〇圓	二〇圓
鴨綠丸、黒龍丸、熱河丸、吉林丸、扶桑丸、瑞穂丸	七〇圓	三〇圓

青島航路

青島方面に行かれる方には大阪商船の青島航路が最も御便利で御ざいます。抑々我國から青島へ定期航路を開始致しましたのは大阪商船が嚆矢（大正三年）でありまして現在優秀快速船が月二航海の定期を踏んでおります。發着時刻及運賃は左の通りでその他の規定は天津航路と略々同様でありますが詳細は弊社發行の青島航路案内を御參照願ひます。

往航（青島向）		
神戸（岸壁）	第一日	午前十一時發
門司（岸壁）	第二日	早朝着 午後一時廿分發
青島（岸壁）	第四日	早朝着

復航（内地向）		
青島（岸壁）	第一日	午前十一時發
門司（岸壁）	第三日	早朝着 午後二時半發
廣島（沖繫）	第四日	早朝着 正午發
神戸（岸壁）	第[illegible]日	午前九時着

天津

天津伊租界記念塔

天津は一八六〇年の北京條約によつて開港されて以來北支隨一の貿易港でありますが今後北支の門戸として益々その經濟的重要性を増す事は疑ひのない所であります。斯の如く天津は日本の大阪にも比すべき商業都市ではありますが觀光地としても亦特異な魅力を誇つて居ります。即ちその特徴は國際色であつて、現在殘つてゐる日、英、佛、伊四ケ國

東西何百里、南北何百里、北支の大地横たはる所、一掬の土、一本の草、これ皆我が同胞の墳墓ならざるなし

されど勇士の鐵血何ぞ空しからん、聽け、日に澎湃として湧く新天地建設の叫びを・・・・・・・・・

日之出旅館	旭街	和式	四元—八元
富久屋旅館	特三區二緯路	同	五元—八元
廣澤旅館	小松街	同	五元—八元
眞養館	淡路街	和式及洋式	四元—七元
橘旅館	橘街	和式	五元—八元
彌生館	松島街	同	五元—八元
天津ホテル	特三區一緯路	同	五元—八元
天一ホテル	明石街	和式及洋式	五元—八元
精養軒ホテル	特三區大經路	同	三元—八元
玉屋旅館	曙街	和式	五元—八元
永陽館	壽街	和式及洋式	四元—八元
總站ホテル	河北大經路中山公園	同	三元半—六元

北京

北京は天津の西北一四〇粁、汽車で約三時間の所にあります。その發祥は西暦紀元前二千年の遠きに及ぶと言はれ、千餘年の昔遼が此の地に都城を築いて以來、幾度か國替り、又幾度か改名され極り無き盛衰の波に遭遇しながらも終始大支那四百餘州の國府として君臨し來つた世界有數の古都であります。此の運命の都北京は今や戰雲霽

愛國ホテル	崇文門内米市大街	和式	四元—六元
南州館	蘇州胡同	同	三元半—四元
一聲館	崇文門南船板胡同	同	三元—五元
福島館	東城八寶胡同	同	三元半—五元
大和ホテル	東城蘇州胡同	同	四元—八元
大和ホテル別館	東單牌樓	同	四元—七元
日華ホテル	東城洋溢胡同	和式及洋式	五元—八元
日華ホテル別館	東安門大街	和式	五元—十五元
都ホテル	崇文門大街	同	四元—十五元
扶桑館	東單牌樓	洋式	五元—十五元

蘆溝橋

北京郊外蘆溝橋は、その橋畔に「明月の詩」あり、古來北京の風流人士が月明を慕つて杖を曳いた所でありますが、突如昭和十二年七月七日午後十一時四十分、我が豐臺駐屯部隊の一部が此の附近に於て夜間演習中、宋哲元麾下第二十九軍の支那兵から不法射撃を受け、之が口火となつて南北支那の天地は忽ち硝煙に包まれたのであります。此の橋畔の事件が幾多同胞の生命を奪ふ發端となつたと思ふ時、又此の

の租界は各國思ひ〳〵に自國の文化趣味を取入れ道路に建物に巡羅兵の服装に獨特の情趣が漂ひ、各國租界にある大和公園、ビクトリア公園、フランス公園、イタリー公園等のそれぞれ異つた情緒はそれ〴〵の國民に切々の鄕愁をそゝるとの事であり、天津は正に北支に存在する特異な國際都市であり、觀光者は此處に世界の縮圖を見る事が出來るのであります。

團體の御遊覽には左の御便宜があります。

天津市內遊覽自動車（二時間乃至三時間、貸切バス大型三二人乘料金二〇圓乃至三〇圓）

視察巡路、大和公園―旭町―東門大街―鼓樹―估依街―李公祠―特別第三區―伊租界―ビクトリヤ公園

尙御乘物は自動車二時間六弗馬車半日二弗五〇仙、人力車一時開銀二十仙、半日銀八十仙程度であります。馬車で約四時間で御視察出來ます。

◎天津旅館案內

旅館名	所在地	樣式	食事附宿泊料
大和ホテル	花園街	和式及洋式	五元半―十五元
芙蓉別館	榮街	同	七元―十五元
常盤ホテル	壽街	同	七元―十五元
平安ホテル	旭街	和式	九元―十七元
芙蓉ホテル本館	曙街	和式及洋式	四元―十二元
曉ホテル	特三區一緯路	洋式	三元―八元
松島館	松島街	和式	五元―八元

れ亘る明朗北支の中心として明るい將來に確實な一步を踏み出したのでありますが〝眠れる獅子〟の美しき遺骸とも言ふべき數々の美觀、一千年の間歷代の朝廷がそれ〴〵の面目に懸けて經營した東洋文化の粹は今尙絢爛豪華の黃金時代を物語り秘史哀話を綴る幾多の史跡は今に杖曳く者の感慨を深からしめ、觀光地としての北京の價值は世界隨一の稱を擅にして居ります。「東洋の巴里」「支那の京都」とも言ふべき此の北京は市全體が一つの素晴らしき遊園地であり又美術館でもあり、幾日北京に足を留むるもなほ見足らぬ感が去りやらぬと言ふ此の地の觀光者に共通な執着が旅人の出足を鈍らすと言はれる程で此の飽く事なき北京の魅力を世界一と稱するのは決して過言ではないのであります。從つてその觀光箇所も非常に多いのですが代表的名所を御遊覽になるには左の御便誼があります。

北京市內遊覽自動車（一臺五人乘）

視察路順

（イ）一日目　喇嘛廟―國子監―孔子廟―鼓樓―鐘樓―北海公園―宮城―文華殿―武英殿―中山公園

（ロ）二日目　萬壽山―玉泉山―臥佛寺―碧雲寺―西山廻り

（ハ）三日目　觀象臺―故宮博物院―景山―天壇―城壁（前門）―琉璃廠―萬里の長城（八達嶺）

所要時間

（イ）約八時間　（ロ）約七時間　（ハ）約六時間

右料金

（イ）約一四元　（ロ）約一〇元五〇　（ハ）約九元

◎北京旅館案內

旅館名	所在地	樣式	料金
櫻ホテル	東西南大街	和式	三元―六元
東京ホテル	東城新開路	同	五元―六元
燕京ホテル	西觀音寺胡同	和式及洋式	五元―九元
王府ホテル	王府井大街	洋式	二元―八元（室料ノミ）
敷島館	東城西觀音寺	和式	四元―五元
東安ホテル	東安門大街	和式及洋式	三元―五元

天壇

山海關

貴い犧牲こそ東洋平和の礎と思ふ時、呪ふべきか蘆溝橋？　感謝すべきか蘆溝橋？　我が國民にして北支に赴く者必ず訪ねゝばならぬ所。

通州

通縣は昔の通州の地で、以前は支那三大工事の一と言はれる大運河の終點であり、又南支那に通ずる唯一の交通路の起點であつた爲、北京に次ぐ殷盛を誇つたものでありますが、天津北京間に鐵道が敷設されると共にその重要性を失ひ世人から忘れ去られてしまつたのであります。然るに昭和十年殷汝耕を主班とする冀東防共自治政府が獨立を宣言し、冀東地區二十二縣に君臨する首府を此の地に定めて以來、通州は再び世界の視聽を集めたのであります。此の政府は地方民の總意によつて結成されたもので北支の一角に樂土を建設しつゝあつたのでありますが、不幸今次の事變に際し、通州保安隊の邦人虐殺と言ふ血腥い事件が起き、我々にとつて恨長き土地となつて仕舞ひました。

通州は北京の東二十五粁、汽車で五十分の所にあり、以前御成街道であつた爲北京城外から全部板石を敷き詰めた五間道路が開通して居り、又北京が帝都となる以前に著名な佛蹟地であつたものと見え、今尙ほ後周時代の遺物と言はれる十三層の燃燈舍利佛塔及び長さ百八十尺、幅四十八尺の大石橋等が往古の榮華を物語つております。

大同ノ石佛

新戰場張家口は萬里長城に設けられた約三十の關門の一つで、古來山海關と張家口の間の長城が京師を扼する最も重要なる要害とされ、軍事上樞要の地を占めてゐたものであります。後明治三十五年露支條約によつて商埠地として開放され、平綏線の延長と共に益々發展し、現在察哈爾省の省城として又北京以北最大の商業都市として活況を呈して居ります。張家口は又古くから蒙支貿易の關門として知られ、今尚約七萬頭の駱駝が荷物輸送をしてゐるのは實に見物であります。

大同

ホテル案内

金臺旅館	日本式	一弗—二弗
迎賓樓	支那式	同
廣仁樓	同	同
東華樓	同	同
東興樓	同	同

大同は北京から平綏線で約十四時間半の地點にあつて、人口五萬、山西省第二の都市であり、郊外約十二粁の雲崗山の石佛を以て世界的に有名であります。雲崗の崖には大小樣々何十萬あるか判らぬ無數の佛像が浮彫され、それ等が古い事多い事のみで珍らしいのみではなく、その一つ一つが實に立派な藝術作品であり、我が伊藤博士によつて千年の後に廣く世界に紹介されたものであります。今般の事變で我軍が

山海關

山海關は前に渤海を控へ、後に高嶺を負ひ、此處を起點として東北に蜿蜒たる長城が延び、文字通り山海の關門をなし、古來北方より中原を窺ふもの必ず此の地を脅かし、隋末より唐宋の時代にかけて兵火のおさまつた事のない歷史的にうるさい場所で、現在の城廓は明の大宗洪武年間に築造されたものであります。現在滿支の國境をなし奉山線の終點で北寧線との接續驛であり、交通上要衝をなして居ります。

ホテル案内

オリエンタルホテル	驛前	日本式	三圓以上
東洋館本館	南門外	同	同
大和館	同	同	四圓—八圓
東洋館別館	同	同	四圓—十圓
鐵路飯店	車站附近	歐風	銀五弗—十弗
日本館	南門外	日本式	三圓—六圓

芝罘

芝罘

芝罘は廟島海峽を隔てゝ大連から僅か八十八浬遼東半島と最短距離の地點にある港町であります。氣候頗る溫和で夏涼しく、稀に見る健康地として知られ又夏季米國東洋艦隊の避暑地として有名で數十隻の米艦が入港すると人口十三萬の此の港町はたちまち極彩色の歡樂境を描き出します。此處は昔秦の始皇帝が不老不死の靈藥を求めて行幸したと言ふ傳說があり、又和寇襲來の時烽火を上げて防備した狼烟臺の跡として烟臺と言ふ別名があります。

として贏ち得た之の貴重なる利權が惧を呑んで殆ど無條件で支那へ還付せらるるの已むなきに到つたのは大正十一年十一月の事でありました。時移つて昭和十三年、今般の聖戰此の地に及ぶの時、再び青島の空高く日章旗が飜りました。誠に感激の極みであります。

○視察經路

屠牛場—膠濟鐵路局—會姓岬—舞鶴濱—忠の海—櫻公園—灰泉角砲臺—イルチス砲臺—大日本麥酒工場—青島神社—氣象觀測所

ホテル案内

グランドホテル	大平路	日本式	七圓以上
大和ホテル	曲阜路	同	五圓—十圓
松茂里旅館	中山路	同	四圓—六圓
中央ホテル	市場一路	同	四圓—七圓
蔦屋旅館	冠縣路	同	三圓—五圓
花月旅館	同	同	同
大和ホテル別館	市外港山	同	五圓—八圓
東洋ホテル	新疆路	同	三圓—八圓

濟南

濟南は北支に於て北京天津に次ぐ大都會であり青島に通ずる膠濟鐵道と天津浦口間の津浦鐵道との接合點に當る丈でなく、黃河水運の要地として交通經濟上樞要の地を占めてをります。此の地方は支那で最も早く開けた所である爲め史跡數多く、濟南事變の戰沒者百五十七柱の英靈を祠る忠魂碑も我々の思ひ出を新たならしめます。又此の地は城内の三分の一迄が大明潮に占められ、濟南七十二泉ありと言はれる有名な水郷で、隨所に古來此の地に遊んだ文人墨客が大明湖の風致を賞した數々の詩句や題詠が碑記に殘されてをります。蓮の花咲く頃湖上に船を泛べて霞に煙る楊柳を眺め乍ら風流の昔を偲ぶのも興ある事でありませう。

泰山愛身崖

大同に進軍した際此の天下無比、北魏時代のガンダラ佛教美術の粋大同の石佛が我が軍の手により盜難破壊から完全に保護されました。誠に喜ぶべき事であります。

済南

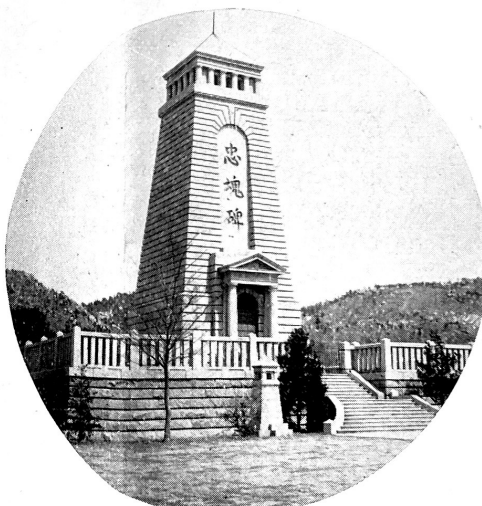
綏遠

綏遠は大同の西北方二百八十五粁汽車で十時間の所にある綏遠城の省城であります。此の地は歸化城又は歸綏の別名を以て呼ばれ、案内記によれば一日の温度の變化最も甚しく朝は綿入を着、午は紗を着ると言はれ、城の四方は濠を繞らし、堤に楊を植ゑ、温暖の候、濃陰淡綠の中に雉堞を隱見する樣は歸綏八景の一で柳條陰綠と稱せられるとあります又。此の地は張家口が蒙支交易の門戸であるに對し、陝西、甘肅、新疆等支那の西北諸省との間に駱駝隊、自動車等による交易網が展開され、殷盛なる商埠地をなしております。尙南十四粁の地に政略結婚悲史のヒロインとして洛陽子女の紅涙を絞つた孟昭君の墓所があります。

包頭

包頭は平綏線の終點で、汽車で到達し得る支那最北の地であります。此の地は邊境の砂漠地なるに拘らず城内の人口七萬、皮筏子、羊皮船によつて運ばれる物資の輸出入年額は實に一千萬元を超へると云ふ商都であります。尙古く韃靼に備へた高闕塞が城の北方二〇粁の地點に殘つて居ります。

太原

山西省の首府太原は山西高原の北邊に位し、堅固な城壁に繞され、人口二十五萬、他省に類を見ぬ教育機關の發達した所で、その昔春秋及北漢の首都であつた懷古的な都であります。昭和十二年十一月三日の佳節、血みどろの山嶽肉彈戰の後に忻口鎭の堅壘を粉碎した我軍は、續いて太原の包圍に移り城明け渡しの勸告に應ぜぬ敵軍を徹底的に掃滅せんと決した皇軍は同九日午前八時激戰の後太原城を完全に掌中に納めたのであります。

青島忠魂碑

青島

青島は山東半島の東南にあり、前は膠州灣に面して天然の良港をなし、後に天資豐かな背後地を控へ、而も支那全土で最も温暖な氣候に惠まれ、風光又明媚之を觀光地と呼ぶよりは寧ろ永住の土地と言ふべきでありませう。

此の青島も今より五十餘年前迄は波靜かな一漁村に過ぎなかつたのでありますが、當時東洋制覇の野望に燃えてゐたドイツの着目する所となり、偶々起つた宣教師虐殺事件を契機としてドイツの租借地となつて以來極東に於ける自國の軍事的、經濟的根據地となすべく、十六億マークの巨資を投じ、十六年間青島の建設に邁進したのでありますが、大正三年世界大戰の勃發と共に皇軍の砲火を浴び、爾來八年間我が國の管理する所となつたのであります。然るに記憶すべき彼の三國干涉の結果、一千十四柱の英靈と多額の國帑を犧牲

泰山

山東大平野に靈氣を放つて君臨する泰山は支那五嶽の長と云はれ、日本の富士にも喩ふべき支那隨一の名山であります。此の泰山は古來靈山と呼ばれ泰山神の祭祠は天子のみの司る所であり、又何時の頃からか支那人の死者の靈魂は全て泰山に歸し、泰山神は人の生命の長短を知ると言ひ傳へられるやうになり、今尙數多の善男善女が嶮しい山道を登つて泰山詣でをするのであります。

泰山は濟南から津浦線で二時間行程の泰山驛から登る事が出來ます。頂上迄は驛から約十粁で徒歩でも充分日歸りが出來ますが支那風の山轎（往復四圓內外）で登山なさるのも面白う御ざいます。

曲阜

此の地は今を去る二千四百有餘年前彼の孔子が呱々の聲を上げ、又晩年六十八歳から七十三歳を以て卒する迄禮を修め樂を正し、春秋を筆削した彼の終焉の地であります。曲阜縣城南半の大部分は孔子を祀つた聖廟になつて居り、その結構の壯大なる事正に支那第一、その輪奐の美は我が日光にも比すべきものがあります。聖廟の北約一粁半の地點に孔子及その子孫の墓地があり「聖林」若しくは「孔林」と呼ばれてゐます。高さ三米、周圍八粁の墻壁に圍まれ、堂々たる城塞をなした塋域は實に五十四萬坪と言はれ、欝蒼たる老柏の間を拔けて行きますと、孔子三代の奧津城、享殿と呼ばれる一大殿宇があり、その周圍には彼の德を慕つて四方から集る人々により移植せられた草木の珍種が繁つて居ります。曲阜縣城は泰山の南方津浦線で一時間半の曲阜驛から泗水の清流を越えた十二粁の地點にあります。世界四聖の一、東洋道德の範を垂れた孔子の聖德を慕ふ者の必ず訪はねばならぬ所であります

曲阜杏壇

キップの御求め其他詳細は左記へ

大阪

- 天保山船客係　港區北海岸　電話西六八六
- 大阪ビル船客案内所　北區宗是町　電話代表土佐堀六七〇〇
- 日本橋船客案内所　南區日本橋北詰　電話南七四一
- 梅田案内所　大阪驛構内　電話北一二四六

- 東京支店　麴町區内幸町大阪ビル　電話銀座三一三一
- 横濱支店　中區本町住友ビル　電話本局二五三一
- 名古屋船客案内所　中區南大津町千代田ビル　電話中三八二七
- 京都船客案内所　四條通富小路東　電話本局五一八八

神戸

- 神戸支店　海岸通　電話三宮二六〇〇
- 神戸旅行案内所　海岸通三丁目　電話三宮二〇八八

- 廣島代理店　宇品町海岸通　電話二二八八
- 關門船客案内所　下關驛前　電話一三六六
- 門司支店　門司市湊町　電話二二二〇
- 別府支店　別府市海岸通　電話一一一〇

九州

- 博多船客案内所　博多驛前九軌デパート　電話福岡五九九九
- 長崎代理店　長崎市千馬町　電話八二〇
- 鹿兒島支店　鹿兒島市生產町　電話一〇二
- 佐賀切符發賣所　佐賀驛前佐運本店　電話一〇九
- 久留米切符發賣所　久留米市京町千歲商町　電話二〇二四
- 熊本切符發賣所　熊本市春日會　電話一五五

- 京城支店　京城府南大門通　電話本局一〇三〇

滿洲

- 大連支店　大連市山縣通　電話本局一一五六
- 奉天事務所　奉天浪速通　電話春日局四〇八九
- 新京事務所　新京中央通　電話大和分局三三一六
- 哈爾賓事務所　埠頭區地段街　電話七一〇一

中華民國

- 北京事務所　北京東交民巷高縣路第一號地　電話東局一一四〇
- 天津支店　天津佛租界佛蘭西碼頭　電話三〇二三四
- 塘沽代理店　塘沽中新街
- 芝罘代理店　芝罘岩城商會　電話一五一
- 青島代理店　青島新疆路岩城商會　電話二二〇六
- 上海支店　上海廣東路第二號　電話代表一五三二四

臺灣

- 基隆出張所　基隆驛前　電話五
- 臺北支店　臺北驛前　電話三八五〇
- 臺北船客案内所　臺北市榮町　電話七五三
- 高雄支店　高雄市新濱町　電話三二二一

ジャパン・ツーリスト・ビューロー（日本旅行協會）各地案内所

（一三三六A）（大阪 濱田印行）

北支航路圖
凡例
航路
國界
省界
鐵道
長城
首府
大都市
都邑
外蒙古
察哈爾省
綏遠省
山西省
陝西省
河北省
山東省
河南省
江蘇省
安徽省
浙江省
湖北省
支那
滿洲國
熱河省
奉天省
吉林省
興安西省
安東省
間島省
朝鮮
日本海
黄海
渤海湾
遼東湾
關東州
北京
天津
大連
青島
濟州島
對馬海峡
朝鮮海峡
濟州海峡
上海
南京
杭州湾
沿海州